

危険物に関する知識を深めよう

身近にある危険物の危険性や、正しい使用・保管方法について知識を深めましょう。

1 灯油用ポリエチレン容器の注意点

灯油を運搬・保管するために灯油用ポリエチレン缶を使う際は、次の点に注意しましょう。

① 5年くらいを目安に交換する

灯油用ポリエチレン缶は紫外線などの影響を受けやすく、劣化が進みます。製造年月日が表示されていますので、確認してみてください。



灯油用ポリエチレン缶



2002年10月製

② ガソリンを入れないようにしましょう！

ガソリンは、可燃性蒸気が多く発生するため、灯油用ポリエチレン缶のように気密性の不十分な容器では漏れる危険性があります。また、灯油用ポリエチレン缶は、ガソリン自体に溜まる静電気を逃しにくく、移し替え等の際に静電気火花が発生するおそれがあり危険です。



③ 保管場所に注意しましょう！

風雨にさらされたり、日光に当たったりすると、性能は低下します。保管する際は、なるべく暗く涼しい場所で、雨風や直射日光が当たらないよう気を付けてください。

2 身の回りの危険物品

日常生活で使用するものには、危険物の入った製品が多く存在します。特に第四類の危険物は揮発、引火しやすい性質を利用し、様々な製品に使用されています。

また、製品が危険物に該当するかどうかは、容器への表示で確認できます。危険物の容器に表示される内容は表のとおりです。いずれも取扱いを誤ると事故発生の危険性が高まりますので、適切な取扱いを心掛けましょう。



ガソリン



灯油



マニキュア、除光液



合成樹脂塗料
ラッカーシンナー



高濃度アルコール飲料



消毒用アルコール



アロマオイル



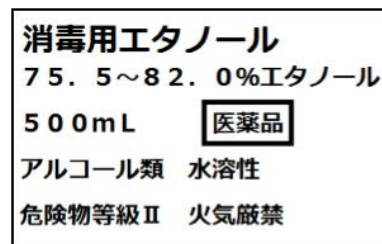
防水スプレー

身の回りの危険物の例

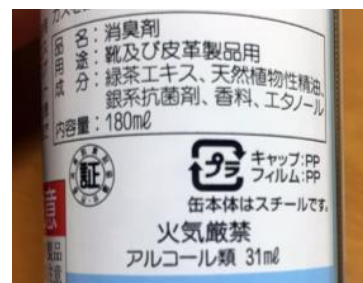
表示項目	表示例
危険物の品名	第四類第一石油類
危険等級	危険物等級Ⅱ
化学名	トルエン
危険物の数量	1L
注意事項	火気厳禁

表 危険物の容器に表示される内容

※最大容積が500mL以下のものには、簡易的に表示される場合があります。



消毒用エタノールの表示例



消臭剤エアゾール缶の表示例

事故事例

【手指消毒用アルコールスプレーによる事故】

台所でガスコンロの付近に置いていた手指消毒用アルコールスプレーが熱せられ、溶けた容器にコンロの火が燃え移り、火災になりました。